

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年8月29日 (2013.8.29)

【公開番号】特開2012-111851(P2012-111851A)

【公開日】平成24年6月14日 (2012.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2012-023

【出願番号】特願2010-262004(P2010-262004)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/44 (2006.01)

H 0 1 L 31/04 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 J 163/00 (2006.01)

C 0 9 J 175/16 (2006.01)

C 0 8 G 18/72 (2006.01)

C 0 8 L 75/04 (2006.01)

C 0 8 G 18/67 (2006.01)

C 0 8 F 290/14 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/44 Z

H 0 1 L 31/04 F

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 163/00

C 0 9 J 175/16

C 0 8 G 18/72 Z

C 0 8 L 75/04

C 0 8 G 18/67

C 0 8 F 290/14

B 3 2 B 27/00 D

B 3 2 B 27/40

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月16日 (2013.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

ポリイソシアネート化合物 (b 2) が、ジイソシアネート化合物 (b 2 - 1) であり、ポリイソシアネート成分 (B) が、(メタ)アクリロイル基及び水酸基を有する化合物 (b 1) と前記ジイソシアネート化合物 (b 2 - 1) との反応により生成するウレタン結合に、前記ジイソシアネート化合物 (b 2 - 1) 由来のイソシアネート基がさらに反応してなる、アロファネート結合を有する成分である、請求項 2 記載の(メタ)アクリロイル基を有するウレタン樹脂 (C) 。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

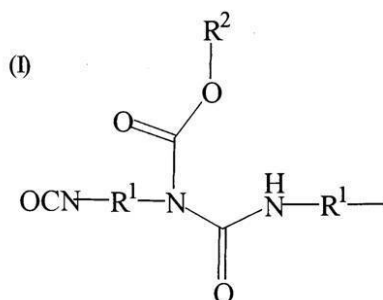
【補正方法】変更

【補正の内容】

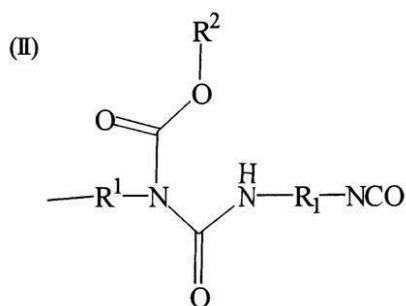
【請求項 4】

ポリイソシアネート成分（B）が、下記一般式（I）及び／又は下記一般式（II）にて示される部分構造を含有する成分である、請求項 3 記載のウレタン樹脂（C）。

【化 1】



【化 2】



一般式（I）、（II）において、

R^1 はジイソシアネート化合物（b 2 - 1）からイソシアネート基を除いた残基を表し

、
 R^2 は（メタ）アクリロイル基及び水酸基を有する化合物（b 1）から水酸基を除いた残基を表す。）

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

一般式（I）、（II）において、

R^1 はジイソシアネート化合物（b 2 - 1）からイソシアネート基を除いた残基を表し

、
 R^2 は（メタ）アクリロイル基及び水酸基を有する化合物（b 1）から水酸基を除いた残基を表す。）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

一般式(I)、(II)において、

R¹はジイソシアネート化合物(b2-1)からイソシアネート基を除いた残基を表し

、

R²は(メタ)アクリロイル基及び水酸基を有する化合物(b1)から水酸基を除いた残基を表す。)

なお、一般式(I)における-NHR₁-は-NHR₁CH₃の意ではなく、一般式(II)における>NR₁-は>NR₁CH₃の意ではない。